

校長より「日吉ヶ丘高校を目指す皆さんへ」

日吉ヶ丘高校は来年度大きく進化します。中学生の皆さんから「選ばれる学校」になるために大きな改革を進めています。

1. 日吉ヶ丘高校は、学校全体が「進学型単位制普通科高校」に生まれ変わります。多様化する生徒たちのニーズ、とりわけ大学進学を志す生徒のニーズにこたえるため、志望する大学受験に必要な講座や興味関心を広げるような講座などが受講できます。
2. 日吉ヶ丘高校の特色である英語科・国際コミュニケーション科で培ってきた語学系専門学科のノウハウを学校全体に広げます。今まで国際コミュニケーション科だけに設置していた「第2外国語」や「L1演習」などの科目を受講することができます。
3. 10億円をかけて校舎全体をリニューアルします。校門からスロープ玄関付近、各H R教室、トイレの改修や、バリアフリーのためのエレベーターや渡り廊下、その他英語に特化した施設の設置などを行う予定です。

主な特色は以上ですが、今まで通り学業と部活動の両立をめざす「文武両道」を奨励します。日吉ヶ丘高校は、勉強が好きで真面目に取り組む、グローバル社会の中で目標をもって生きることができる人材を育てたいと考えています。中学生の皆さんには無限の可能性があります。日吉ヶ丘高校で一緒に夢を実現しましょう。

校長 大江 加津隆



日吉ヶ丘の教育の特色

■進学型単位制とは

日吉ヶ丘高校では、大学進学をめざす皆さんひとりひとりの目標に合った授業を受けることができます。

一般的な高校では、学年ごとに設定された単位数を修得できなかった場合は原級留置になり、同じ学年をもう一度やり直さなければなりません。その際、一度修得できた単位も無効となってしまいます。

それに対して、単位制の高校は、原則として原級留置はありません。必要な数の単位を修得できれば卒業が認められますし、一度修得できた単位は無効になりません。

日吉ヶ丘高校では、この単位制を導入します。

ただし、それは卒業がしやすい高校を目指したからではありません。進路保障（大学進学）のために有効と考えたからです。

大きな特色は、

◆ 個人個人の目的に合った時間割が作れる

◆ 少人数でも授業ができる

ということです。